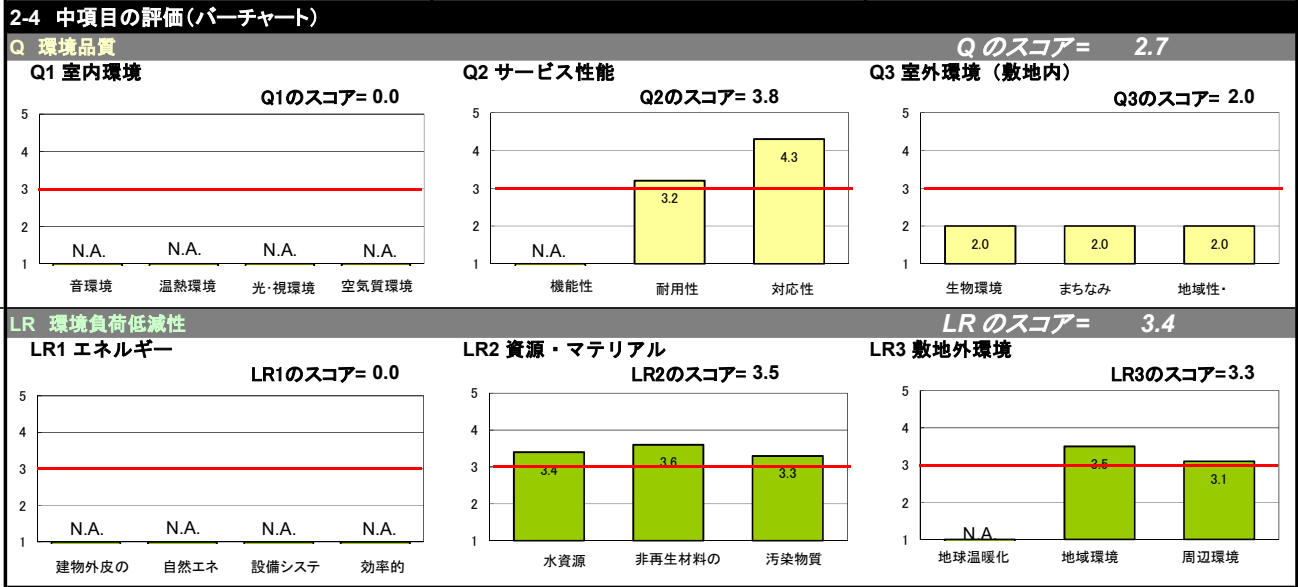
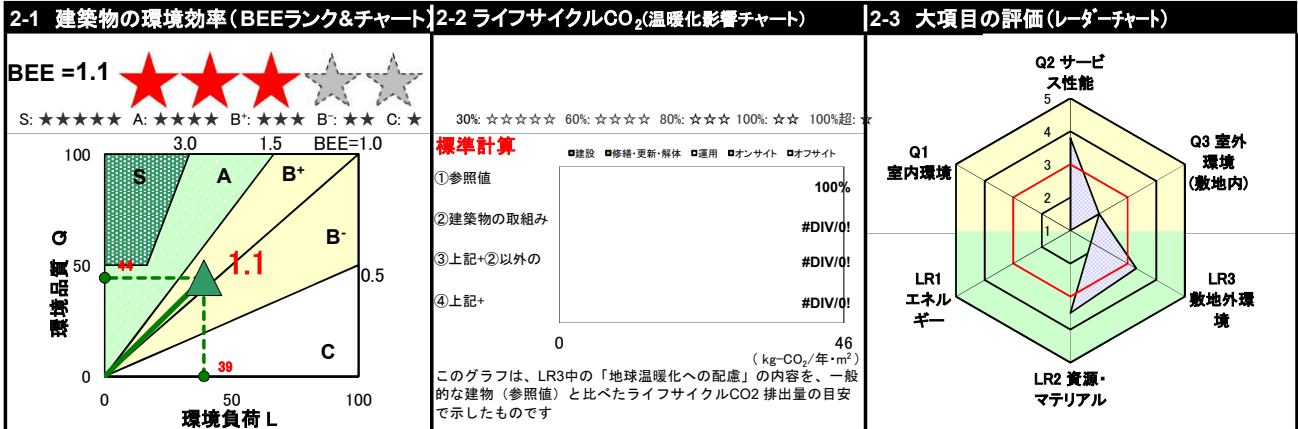


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ロジクス厚木Ⅲ計画/新築工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県厚木市上依知字上/原3029番3ほか2筆	構造	RC造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,600 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2023年7月20日
敷地面積	29,605 m ²	作成者	株式会社鴻池組
建築面積	13,288 m ²	確認日	2023年7月27日
延床面積	52,748 m ²	確認者	株式会社鴻池組



3 設計上の配慮事項

総合	その他
・ゆとりのある階高と空間の自由さを確保し、設備やプランニングの自由度が極めて高く、建物の節水性に配慮している建物	特になし
Q1 室内環境 特になし	Q2 サービス性能 階高3.9m以上。壁長さ比率0.06。構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕ができる。仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕ができる。
Q3 室外環境(敷地内) 特になし	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 特になし	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、省水型機器(例えば擬音、節水型便器など)を用いている。躯体+軽鉄+仕上材のディティールを採用している。再利用できるユニット部材を用いている。ODP=0かつ、GWP=10以下の発泡剤を用いた断熱材等を使用している。
	LR3 敷地外環境 燃焼機器の使用がなく、大気汚染物質を全く発生しない。「光害対策ガイドライン」のチェックリストを一部満たし、「広告物照明の扱い」の配慮事項の過半を満たす。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される